

多目的屋内施設及び豊橋公園東側エリア整備 基本設計の概要について (令和8年8月10日)

豊橋ネクストパーク株式会社

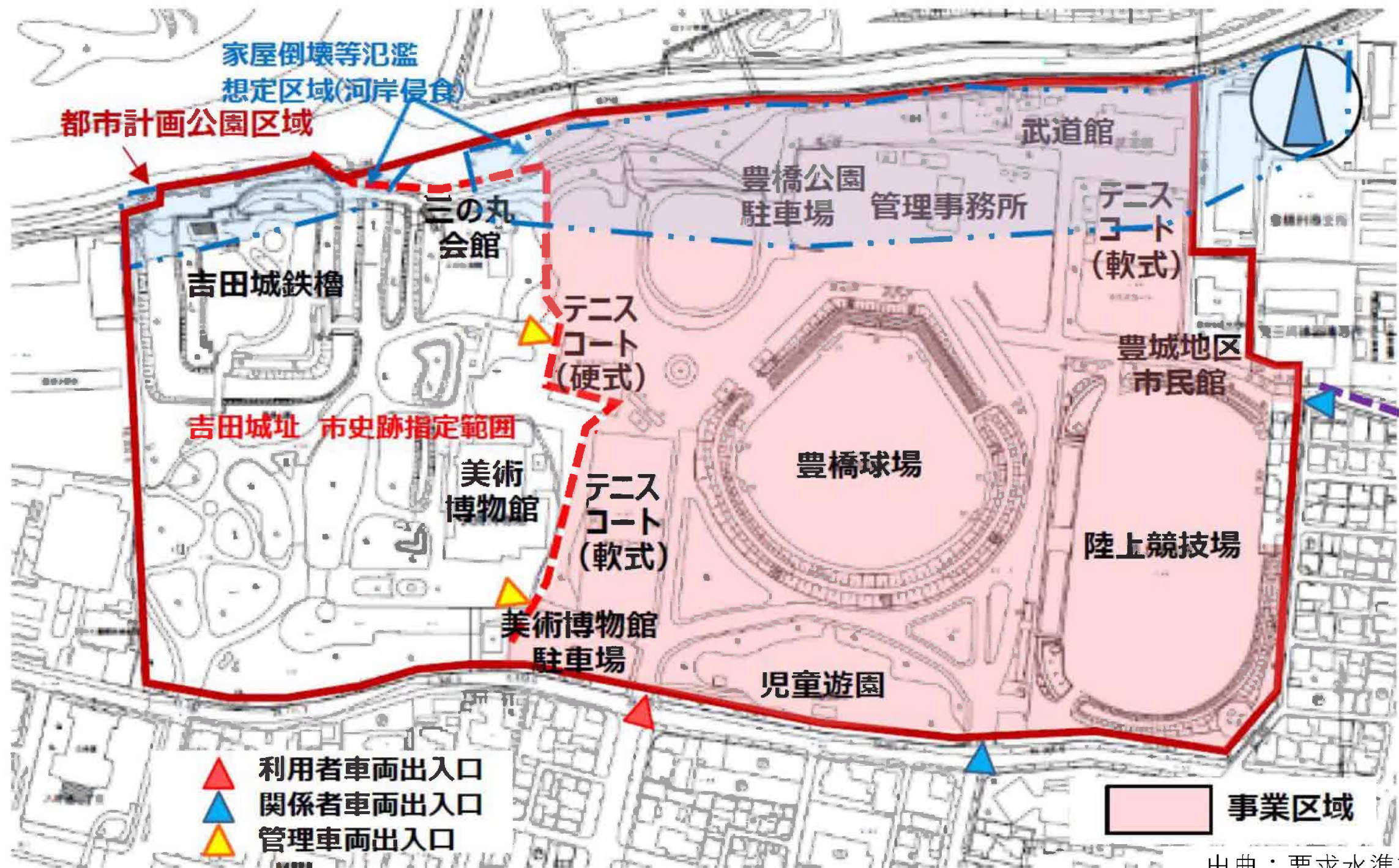
※本資料に掲載のイメージ図等に関しては、今後、整備内容が変更となる場合があるほか、既存の樹木や背景は実際のものとは異なる場合があります。

【目 次】

1. 整備区域概要
2. 基本設計概要
 - (1)公園基盤施設
 - (2)多目的屋内施設

1.整備区域概要

事業区域概要(施設配置状況) 要求水準書より



2.基本設計概要 (1)公園基盤施設

公園基盤施設の整備にあたって

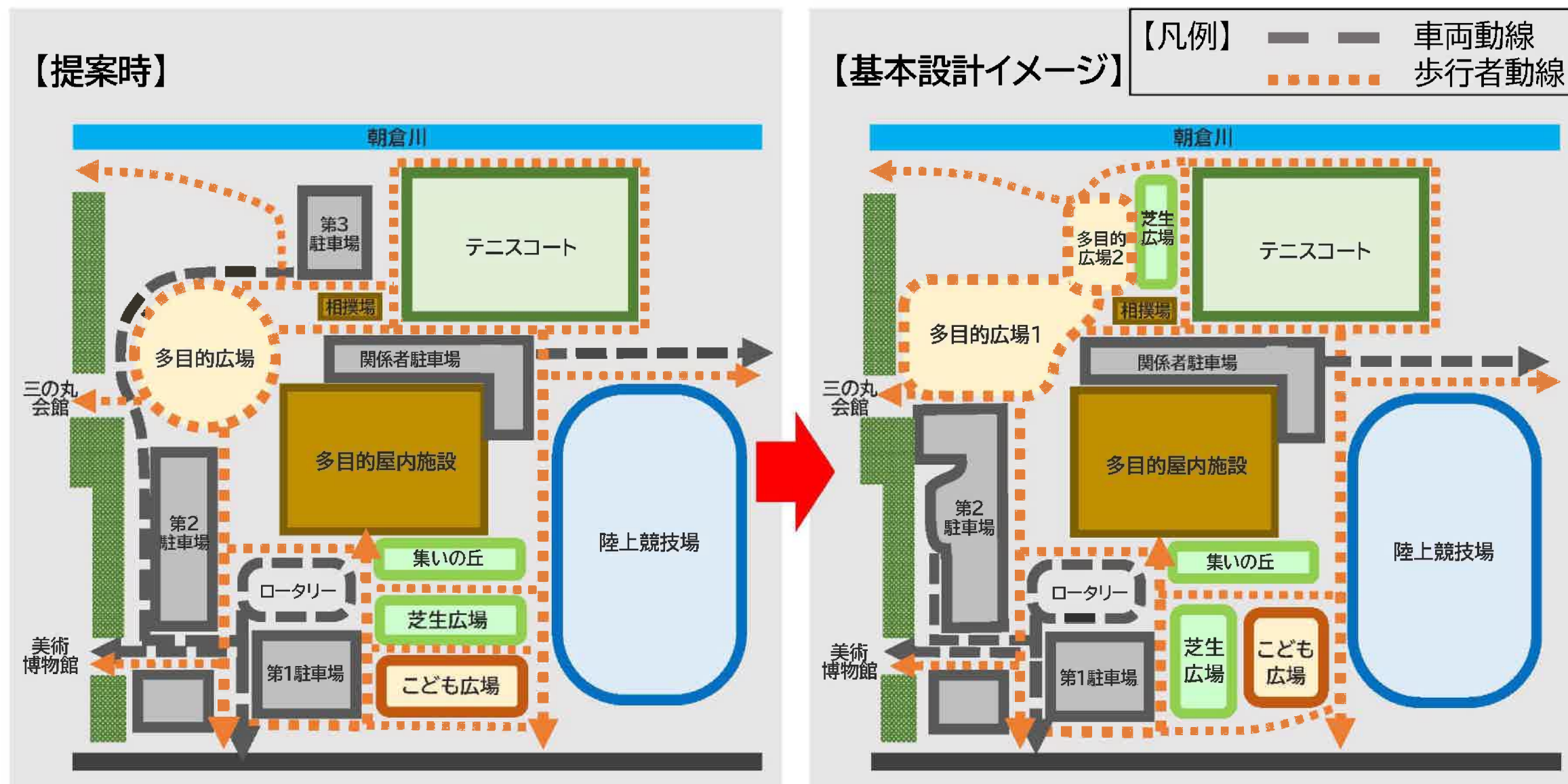
市民の皆様、市議会からのご意見及び関係団体へのヒアリングを踏まえ、当初の提案内容からさらに改善を進め、基本設計を行ってまいりました。

【主な設計のポイント】

- ① 歩車分離による公園利用者の安全性の向上
- ② 周辺道路の渋滞対策を念頭に置いた駐車場計画
- ③ 施設配置の再検討による安全性及び利便性の向上
- ④ 既存樹木の保全への配慮

2.設計概要 (1)公園基盤施設

公園基盤施設の整備にあたっての検討を踏まえた設計イメージ

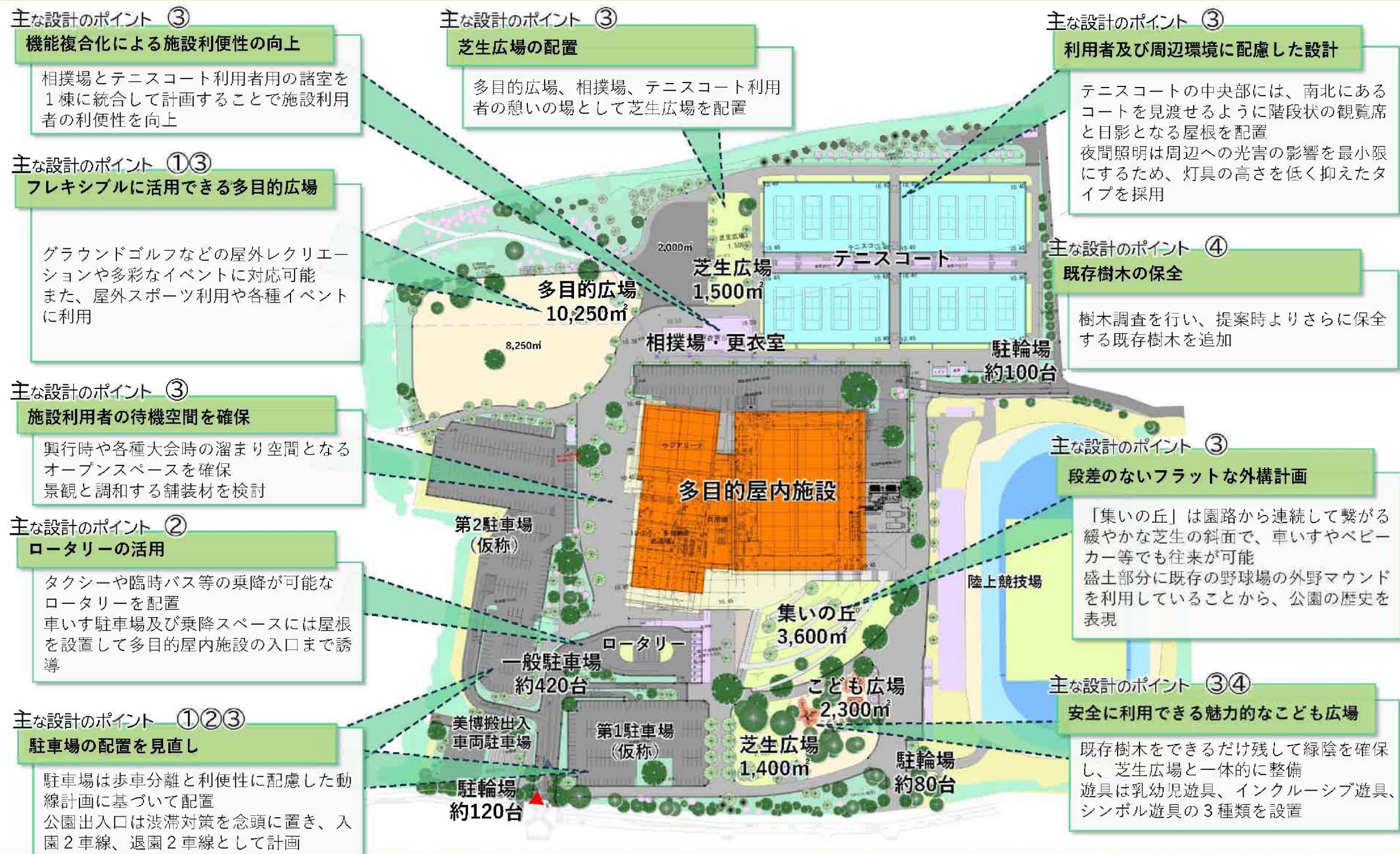


【設計の方向性(駐車場台数、多目的広場や芝生広場などの規模等の要求水準書は準拠)】

- 歩行者動線と車両動線の交差エリアの削減
- 駐車場、こども広場、多目的広場等の配置の見直し
- 交通シミュレーションを踏まえた公園入口の2車線化の検討

2.基本設計概要 (1)公園基盤施設

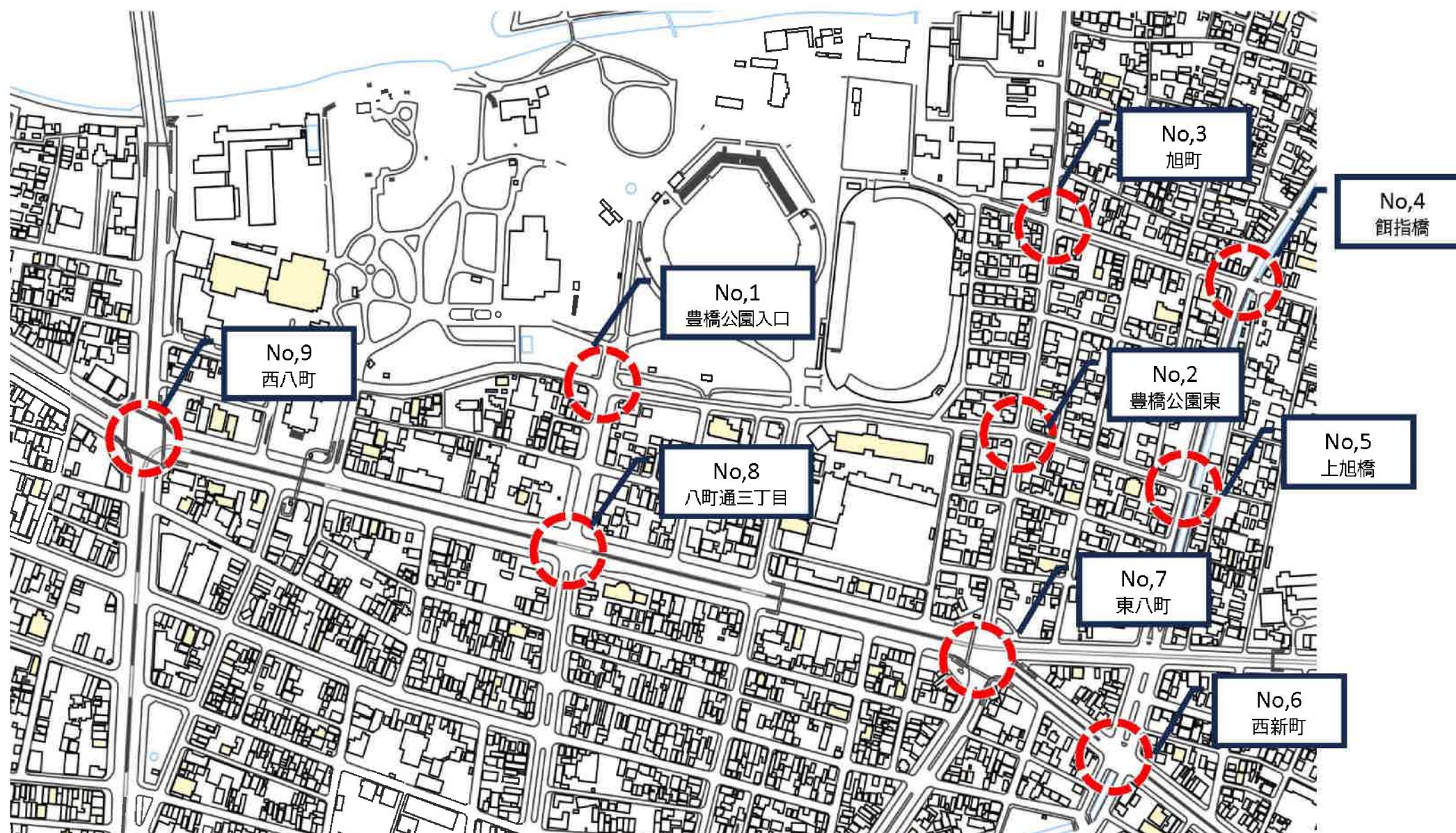
基本設計 配置図



2.基本設計概要 (1)公園基盤施設

交通量調査について

豊橋公園周辺の現況の交通状況を把握するために交通量調査を行い、その結果に基づき交通影響評価を実施しました。交通量調査は令和8年2月1日(日)、2月2日(月)の二日間にて以下の9地点において実施しました。



2.基本設計概要 (1)公園基盤施設

豊橋公園出入口の交通影響評価について

現況(直線1車線)



仮定(直線2車線化)



豊橋公園入口の交差点について、現況は来園時・退園時どちらも直線1車線となっています。
渋滞緩和策のため、現況(直線1車線)及び仮定(直線2車線化)した場合について、ピーク率を100%(400台の車両が1時間ですべて来場した場合)と仮定して、交通影響評価を実施しました。

■ 交通影響評価の結果

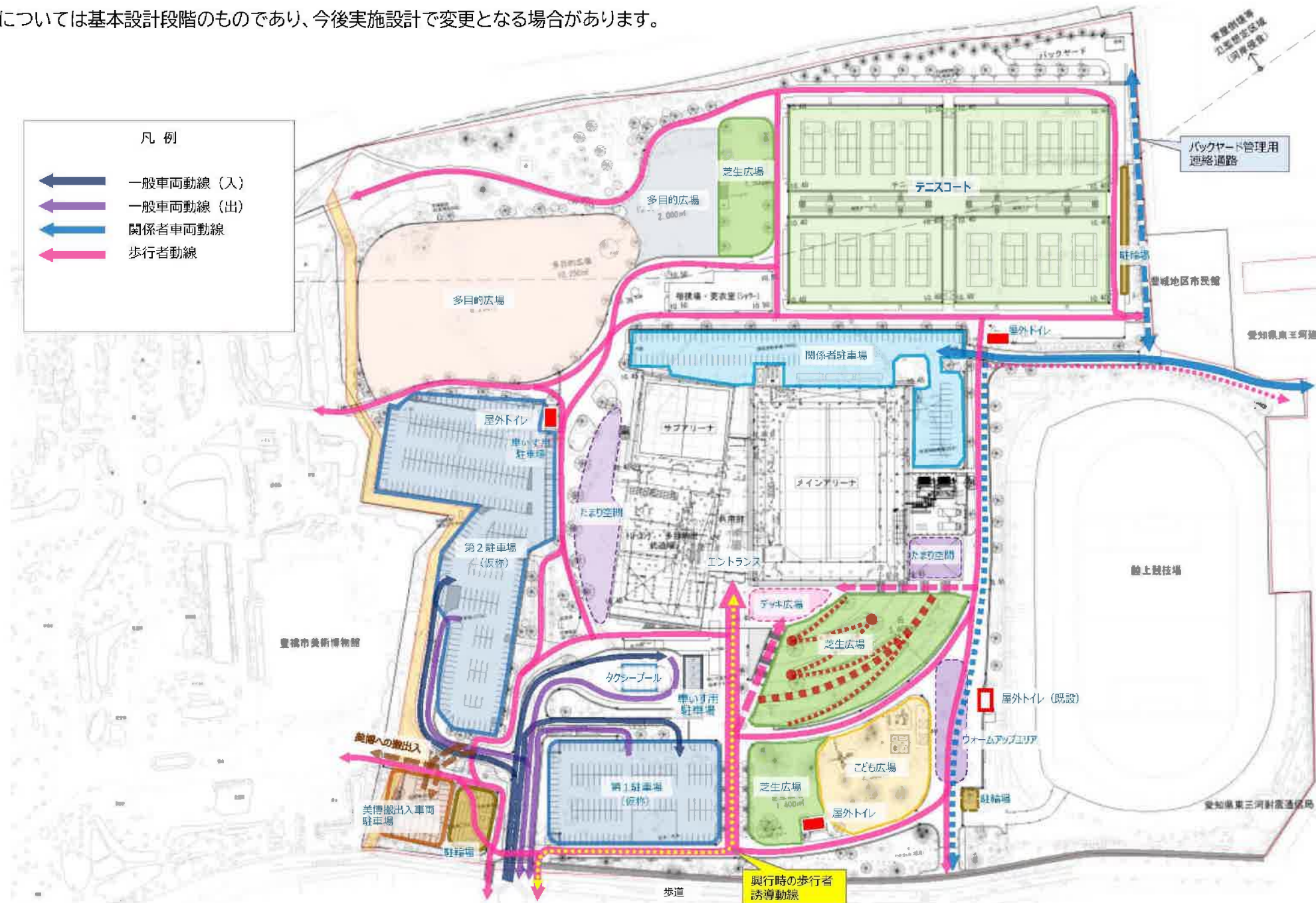
現況(直線1車線)と、仮定(直線2車線化)を比較した場合、現況(直線1車線)でも、混雑度の基準値より下回っているため交通処理が可能です。仮定(直線2車線化)を実施した場合は、より多くの交通処理が可能となるため、周辺交通への影響も低減されることが考えられます。

このような交通影響評価の結果も踏まえながら、駐車場の運用や渋滞緩和策については今後も道路管理者及び警察と協議を進めていきます。

2.基本設計概要 (1)公園基盤施設

動線計画

※配置図については基本設計段階のものであり、今後実施設計で変更となる場合があります。

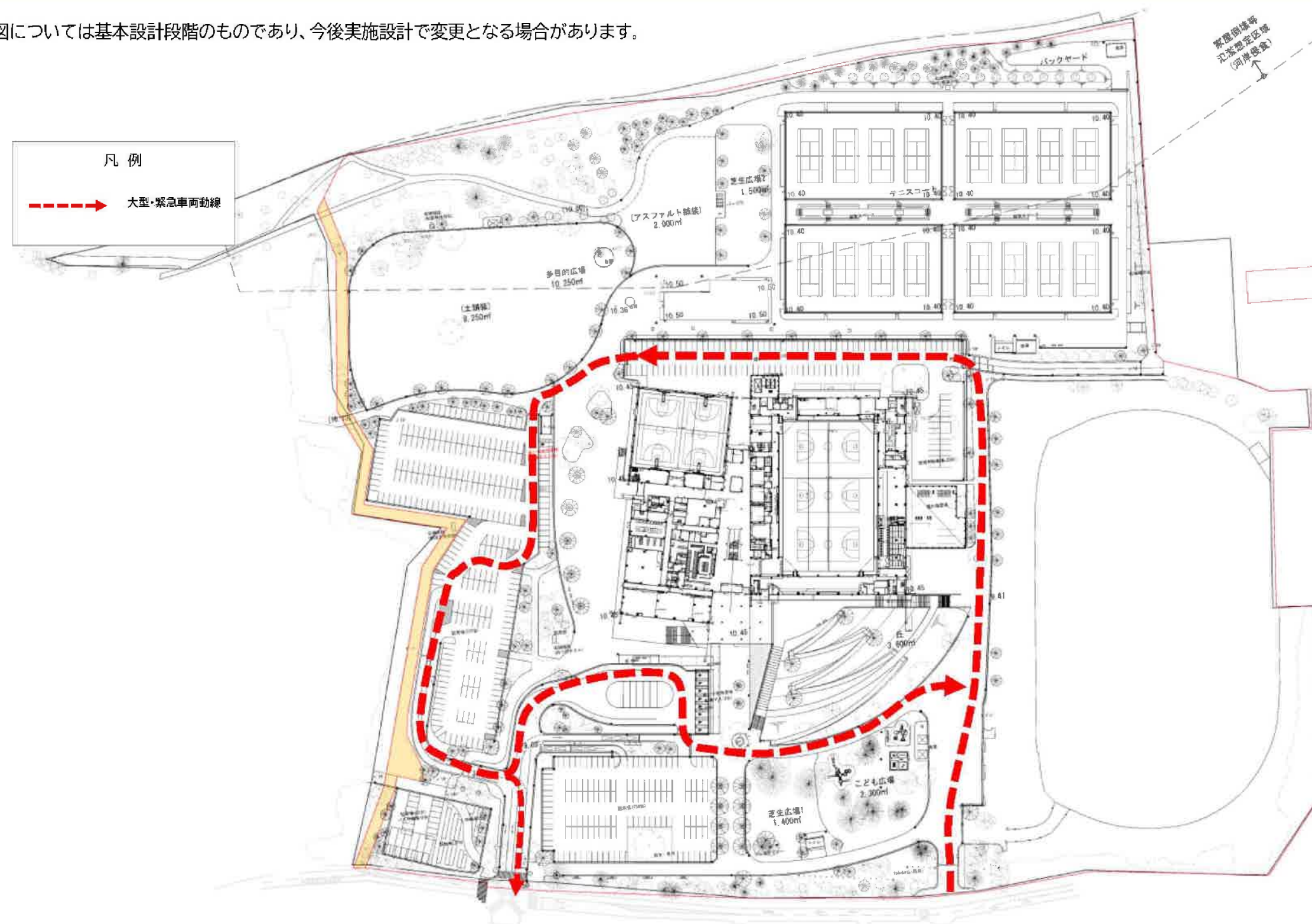


具体的な歩行者動線、車両動線は、今後実施設計の中で検討していきます。

2.基本設計概要 (1)公園基盤施設

大型・緊急車両の動線計画

※配置図については基本設計段階のものであり、今後実施設計で変更となる場合があります。



2.基本設計概要 (1)公園基盤施設

樹木設計方針

要求水準書及び樹木管理図に基づき、記念樹、緩衝帯となる植樹帯をできる限り保全するように配慮しています。また、提案時よりさらに保全樹の追加をしています。

【主なポイント】

I. エントランス植栽の演出

エントランス植栽ゾーン

敷地中央の多目的屋内施設へ真っすぐのびるアプローチ園路上に高木(ケヤキ等)を配置することで、視線方向を強調させ、エントランスの景観にふさわしい修景を行っています。

II. 公園のシンボルとなり、人々に親しまれる高木の配置

シンボルツリー
芝生広場ゾーン、集いの丘ゾーン

利用者の目に留まる場所に、ランドマークとなるシンボルツリーを配置しています。
また、地域住民の憩いの場となる芝生広場には魅力的な花木を配植しています。
集いの丘には、存在感があり大きな緑陰を形成する樹木を選定しています。

III. 豊橋公園らしい自然風景の創出

吉田城址隣接植栽ゾーン
川沿い植栽ゾーン

歴史ある吉田城の景観を阻害せず、豊橋公園らしい風景になじむ植栽を配置しています。

IV. 多目的屋内施設の規模感を緩和させる植栽帯の整備

吉田城址隣接植栽ゾーン、風景保全ゾーン
駐車沿い緩衝帯ゾーン、アリーナ外周植栽ゾーン

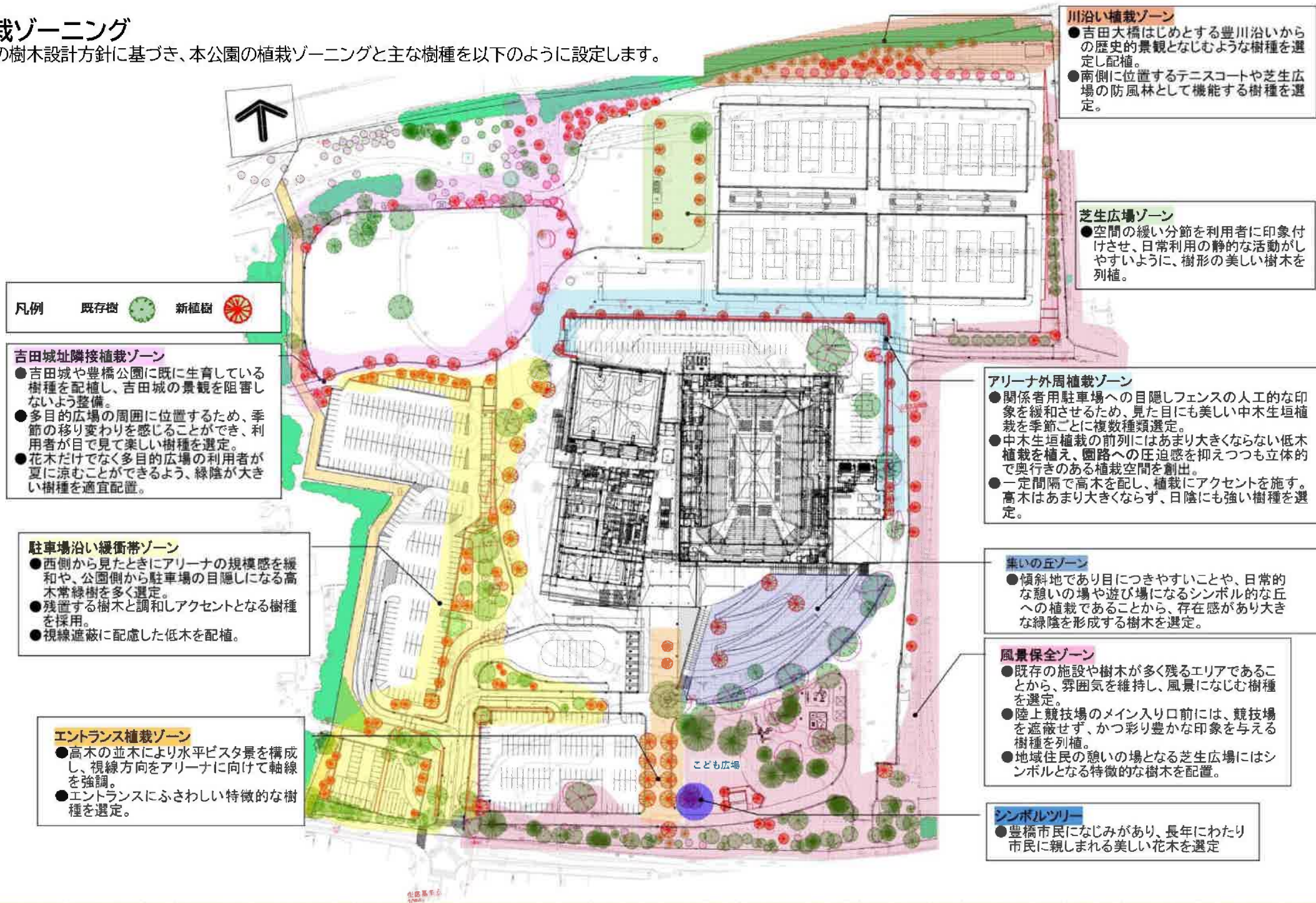
視線を遮り空間の緩衝帯となる植栽を計画しています。

2.基本設計概要 (1)公園基盤施設

樹木計画

■植栽ゾーニング

前項の樹木設計方針に基づき、本公園の植栽ゾーニングと主な樹種を以下のように設定します。



2.基本設計概要 (1)公園基盤施設

こども広場へ設置する遊具について(イメージ)

■基本設計における遊具イメージ

こども広場には、3種類の遊具を計画しています。

※掲載している遊具の写真はイメージであり、実際に設置される遊具とは異なります。

乳幼児遊具



インクルーシブ遊具



シンボル遊具



■こども広場へ設置する遊具の選定方法(案)

手 法

- ・障害者団体等へのヒアリング
- ・公共施設やイベント等での投票アンケートを検討

投票アンケート(案)

公共施設やイベント等においてシンボル遊具を3パターン案として提示し、子どもたちが遊びたい遊具を直感的に選んでいただけるような取組みを検討中です。

2.基本設計概要 (1)公園基盤施設

鳥瞰図 (提案時)



2.基本設計概要 (1)公園基盤施設

鳥瞰図 (基本設計)



2.基本設計概要 (1)公園基盤施設

鳥瞰図 (提案時)



2.基本設計概要 (1)公園基盤施設

鳥瞰図 (基本設計)



2.基本設計概要 (2)多目的屋内施設

多目的屋内施設の整備にあたって

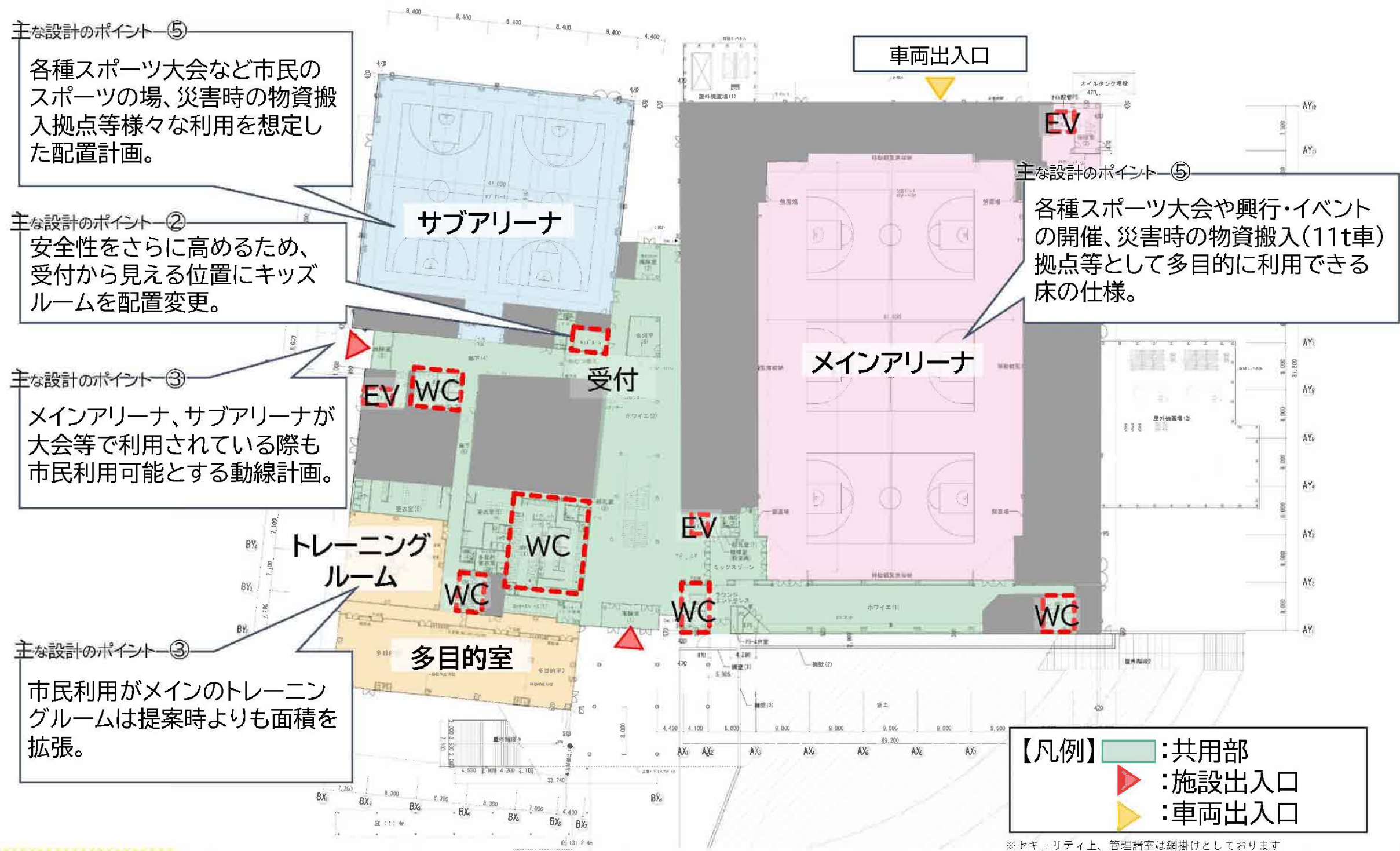
市民の皆様、市議会からのご意見及び関係団体へのヒアリングを踏まえ、当初の提案内容からさらに改善を進め、基本設計を行ってまいりました。

【主な設計のポイント】

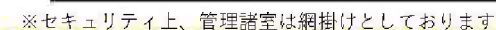
- ①多目的屋内施設の規模感を低減するための、外観デザインを見直し
- ②ユニバーサルデザインを更に配慮した動線計画・諸室配置の設計
- ③市民利用の利便性に配慮した平面計画の見直し
- ④トイレの数、男女比、案内表示、待機スペースを検討し、利用時の快適性を高める設計
- ⑤平常時に限らず、災害時にも防災拠点としての機能を備える設計

2.基本設計概要 (2)多目的屋内施設

多目的屋内施設平面図(1F)

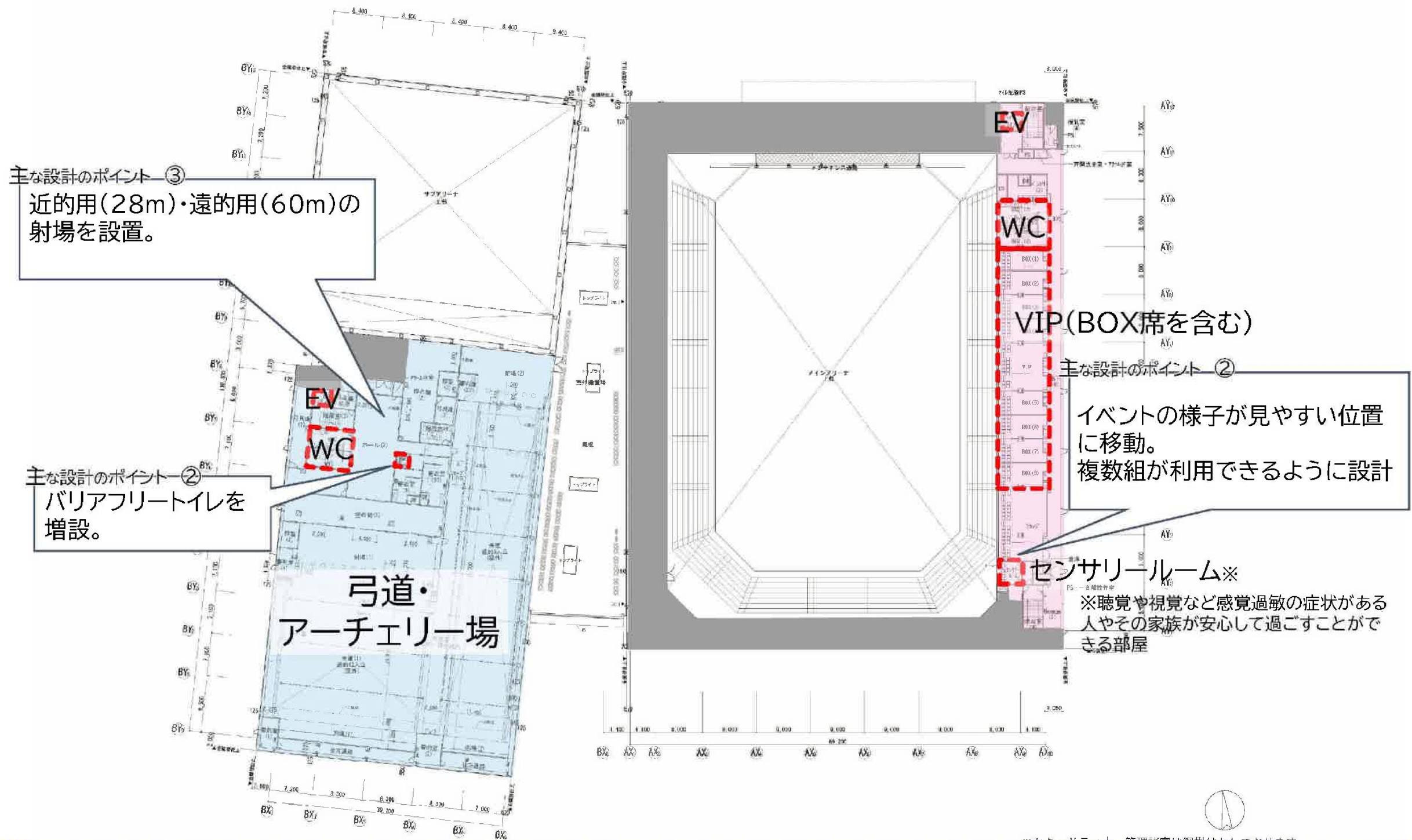


多目的屋内施設平面図(2F)



2.基本設計概要 (2)多目的屋内施設

多目的屋内施設平面図(3F)



※セキュリティ上、管理諸室は網掛けとしております

2.基本設計概要 (2)多目的屋内施設

多目的屋内施設立面図(南側、東側)

主な設計のポイント ①

縦スリットを入れることで外壁の分節を行い、
建物のボリューム感を軽減させます。



南立面図



東立面図

2.基本設計概要 (2)多目的屋内施設

多目的屋内施設立面図(北面、西面)

主な設計のポイント ①

金属外壁は、凹凸のある葺き方を行い、
凸面に素地、凹面にカラーガルバリウム鋼の構成とし、太陽光の反射軽減に配慮します。
また、凹面の色彩にはアースカラーを取り入れ、豊橋公園の緑との調和を図ります。



北立面図



西立面図